

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立若葉小学校
校長 江頭 尚子

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は次のとおりです。

(1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1)国語について

- ・平均正答率は、多くの内容で全国の平均正答率を下回っていました。
- ・記述式の問題では無解答率が全国平均より大きく上回っており、自分の考えをまとめたり文章に表したりすることに困難さをもっている児童が多くいました。
- ・「知識及び技能」の観点の問題では、全国正答率とはほぼ同等でした。漢字を正しく読み書きしたり、言語を場面に即して使ったりするなどの基礎的な力が身に付いていることがうかがえます。
- ・「思考・判断・表現」の観点については、全国正答率を大きく下回っていました。とりわけ、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけたり、それを文章で表現したりする問題の正答率が低く、的確に読み取る力や考えを整理する力を高めていくための指導を日々の授業で意図的に行っていきます。

(2)算数について

- ・平均正答率は、ほぼ全ての内容で全国の平均正答率を下回っていました。
- ・無解答率は記述式・短答式いずれの問題でも全国平均より高く、指導改善の必要があります。
- ・「知識及び技能」の観点の問題では、全国正答率をやや下回っていました。「図形」領域の作図や測定、「数と計算」領域の小数・分数の加減等で誤答が多く見られました。図形の基本性質の復習や、数の相対的な大きさ・捉え方を踏まえた反復の計算練習等を今後も継続して行います。
- ・「思考・判断・表現」の観点についても、全国正答率を大きく下回っていました。与えられた文章・図表・グラフ等、複数の資料から必要なことを読み取って考える学習や一定の条件の中で答えをまとめる学習を日々の授業で意識的に取り上げるなど、課題解決のための指導改善を行っていきます。
- ・学習内容の理解が全体的に不十分なため、基本的な内容を復習しながら学習を進め、少人数授業を実施する等の授業改善を図ります。

(3)理科について

- ・平均正答率は、ほぼ全ての内容で全国の平均正答率を下回っていました。
- ・無解答率は記述式・短答式いずれの問題でも全国平均より高かったです。自分の考えを言葉や図などで表すことに慣れることができるよう、授業の中での表現活動を積極的に取り入れていきます。
- ・「知識及び技能」「思考・判断・表現」の両観点で、全国正答率を下回っていました。基本的な内容を復習しながら学習を進め、児童が理科的な内容に興味関心をもち、自ら問いをもって学習に臨むことができるような授業づくりを行います。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全 63 の質問項目から、全国と比較したときに概ね良好(同等かそれ以上)な結果であった項目は以下の表中の通りです。

質問項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
①自分にはよいところがあると思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	87.3%	86.7%
②人が困っているときには、進んで助けていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	90.4%	90.2%
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	98.4%	96.7%
④いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	96.9%	97.5%
⑤先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	95.2%	92.2%

- ・自分のよさについて自覚をもつことができる児童の割合が、全国平均と比べて僅かですが高い結果でした(①)。家庭での教育はもちろん、全校で取り組んでいる互いのよさを認める活動など、自己肯定感を高める取組の影響も大きいと考えます。
- ・自分のことだけでなく周囲の人へも目を向け、自分にできることがあればやりたいという気持ちをもつ児童の割合が全国平均と比べて高く(②③)、温かく思いやりをもった児童が多いことがうかがわれました。
- ・いじめについての質問には、多くの児童が「いけない」と回答していました(④)。学校生活を楽しく過ごすために、「友達を大切にする」「いじめはぜったいに許さない」という意識を一人一人が高くもっていることが結果から感じられます。児童の現在の気持ちを、今後も継続し、より豊かにするために、引き続き指導を行い、全ての児童がいじめは許されないという考えをもてるようにしていきます。
- ・学校で、教師に自分のよさを認められているという意識をもつ児童の割合が、全国平均に比べて高かったです(⑤)。今後も「ほめるから、はじめる。はじまる。」という佐賀県教育の合言葉を基本に、肯定的に児童と向き合う教育を行っていきます。
- ・朝食の摂取状況については、「あまり食べていない」と答えた児童が全体の 4.8%いました。割合的には低いものの 100%の児童が朝食を食べて登校することを目指したいところです。「毎日きまった時刻に起きる・寝る」については、多くの児童ができており、基本的生活習慣の根幹が整っていることがうかがわれました。
- ・6年生の家庭学習については、目標時間を 70 分としていますが、その目標を達成している児童は 53.9%にとどまっており、30～60 分の範囲で家庭学習を行っている児童が最も多い結果でした(33.3%)。日々の家庭学習についてはもちろん、定期的に取り組んでいる家庭学習週間や家庭学習推進日の目的を、再度ご家庭と確認し協力を求めるとともに、学校でも今後の対策について話し合い、改善を図っていきます。
- ・放課後等に、地域の大人に関わってもらっていると感じている児童の割合も全国平均を上回りました。
- ・質問調査結果の全体から、気になることとして、回答に二極化(「とても肯定的な回答」が多い一方で、「全く否定的」な回答も多い)の傾向があることが挙げられます。例えば、以下のような内容です。

◆学校に行くのは楽しいと思いますか → 当てはまる 55.6%(全国 49.9%) 当てはまらない 7.9%(全国 4.3%)

◆友達関係に満足していますか → 当てはまる 66.7%(全国 64.2%) 当てはまらない 3.2%(全国 2.0%)

◆普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか → よくある 55.6%(全国 54.5%) 全くない 3.2%(全国 0.8%)

学校生活や家庭生活に満足している児童も多い中、何らかの不安や不満を抱えている児童が一定数いるという結果を受け、毎月心のアンケート、日々の学級・学年指導、SC や SSW の積極的な活用など、児童の心のケアに係る充実を図っていきます。

4 今後の改善策(児童の力をさらに伸ばすために)

- ・児童が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、基礎基本の定着の徹底はもとより、児童の発言を大切にしたい対話の多い授業づくりを今後も継続して行います。また、学習や生活の振り返りを定期的に行い、自分の頑張りと課題を見つめさせ、意欲の継続を促し、学習規律・習慣の充実を図ります。心の教育を充実させるためにも、全校的な取組や学級での取組をさらに工夫していきます。
- ・【家庭学習のしおり】を参考にご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習環境や「生活の3点」を整え、学習時間を確保してください。

○学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。

○「生活の3点(起床・夕飯・就寝)」の時間をできるだけ固定させ、生活リズムを整えましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

○「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。

○会話を多くもち、お子さんががんばった過程やできたことを大いにほめましょう。